



JAみちのく村山がカーブミラーを寄贈



み ちのく村山農業協同組合（三浦康彦代表理事組合長）が、10月18日（月）に役場を訪れ、カーブミラー4基を寄贈しました。これは、同組合が交通事故対策の一環として毎年実施しているもので、これまで町に240基を寄贈いただいています。寄贈いただいたカーブミラーは、老朽化したものからの更新や、見通しの悪い交差点などの新規設置などに活用させていただきます。大変ありがとうございました。

結婚50周年おしどり夫婦を祝う

金 婚祝賀記念式典が10月20日（水）に虹のプラザで行われ、昭和46年に結婚された26組のご夫婦の結婚50周年を祝いました。

式典では参加したご夫婦に町社会福祉協議会から記念品などが贈呈されたほか、木村敏郎山形新聞尾花沢支社長から「おしどり金婚さん」顕彰レリーフが手渡されると、参加ご夫婦を代表して阿部三男さん・俊子さん（東町）がお礼の言葉を述べました。参加したご夫婦は共に過ごした半世紀を振り返りお互いをたたえあっていました。



レカンフラワー作りを体験

レ カンフラワー教室が、10月23日（土）に虹のプラザで行われ、町内在住の7人が参加しました。レカンフラワーとは、花や葉を自然な色と形のまま乾燥させ、立体的なフレームに入れ、長時間そのままの色と形を楽しめるフラワーアートのことです。参加者はレカンフラワー愛好会の高桑トモ子会長の指導を受けながら、色とりどりの草花を色合いや配置を考えながら並べて、自分だけのレカンフラワーを作っていました。



佐々木安美の世界



町 民大学地域学講座「佐々木安美の世界」が、10月16日（土）に虹のプラザで行われました。佐々木安美さんは鷹巣地区の出身で、昭和62年に詩壇の芥川賞といわれるH氏賞を、平成23年には丸山豊記念現代詩賞をそれぞれ受賞されています。

この日は、佐々木さんと同じ詩人で過去に共同で同人誌を創刊した松下育男さんとの対談や、酒田詩の朗読会のメンバーによる佐々木さんの詩の朗読、町地域おこし協力隊の大橋武司隊員からは佐々木さんの詩をイメージしたダンスが披露されました。

参加した町内在住の女性は、「町出身の著名な詩人の話を聞くことができ良かったです」と話していました。

町内の親子が登山を体験

や まがた百名山に数えられる大高根山に登るトムソーヤの冒険in大高根山が、10月24日（日）に行われ、町内の親子など11名が参加しました。町で一番高い山とされる大高根山は標高542.9mで、大高根山の会のメンバーが「新道山の神コース」など3つの登山道を整備しています。

この日は、遊Be隊の柴田和徳隊長や大高根山の会の遠藤廣吉代表などの指導の下、頂上を目指してさわやかな汗を流しました。町民登山は登山道を整備しているが企画して毎年行われています。

参加者は、眺望のよい北の峰（標高534m）や巨大松を見ることができる「新道山の神コース」をのぼり、およそ1時間で大高根山の山頂に到着しました。山頂からは大石田の街並みが一望でき、参加者は汗をぬぐいながら眺めを楽しんでいました。



南小でかるた大会 児童たちが枚数競う

大 石田南小で、10月19日（火）に第2回大石田かるた大会が開催されました。これは、昨年度制作された「大石田かるた」の利活用策として、南っこ委員会（児童会）が企画したもので2回目の開催となります。

この日は、南小の全校児童54人がかるた大会に参加し、練習の成果を披露しました。先生が読み札を読み上げると、児童たちは勢いよく手を突き出し、絵札をとっていました。

